

証券コード：6850

第78期

中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

株式会社 **手J-**



株主のみなさまへ

代表取締役社長

荻谷 高夫

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当上半期の概況

平成25年度は、安倍政権が打ち出した緊急経済対策を背景に、公共投資が景気の押し上げに作用し、景気回復の期待感による消費マインドが改善し、企業活動も改善すると思われました。しかし当上半期は円安、金融緩和等の直接的影響で業績好転の企業と未だ設備投資が慎重なため顕著な変化に至らない企業と跛行状態にあります。

当社はこの数年、「グループ全体最適」を合言葉に、社内改革とグループの再編による、地道な構造転換を進めてきました。今期はこの「構造転換」の成果を発揮し、新需要開拓や分野ごとの計装を充実させた新事業拡大、全体最適の管理体制の構築、国内外の連携強化による海外売上比率の向上を目指してきました。

しかし当上半期の当社の売上高は設備投資関連需要が未だ慎重姿勢であったことから7,696百万円に留まり経常利益は17百万円と不本意な結果となりました。

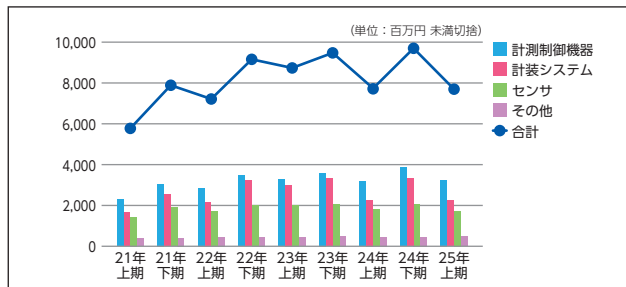
このような状況から、中間配当につきましては実施を見送らせていただきました。

(単位：百万円 未満切捨)

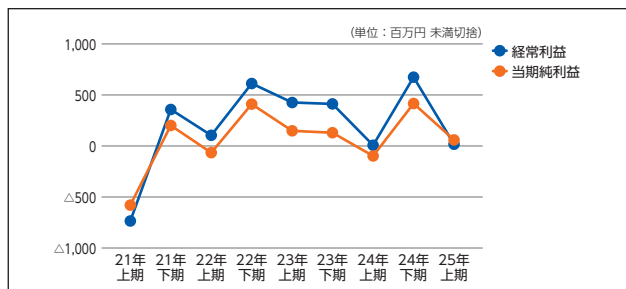
	当上半期	前上半期	増減
受注高	8,279	8,284	△5
売上高	7,696	7,736	△39
国内売上高	6,380	6,211	169
海外売上高	1,315	1,524	△208
営業利益(△損失)	△89	△39	△50
経常利益	17	7	9
四半期純利益(△損失)	59	△98	158

当上半期の業績

◆連結売上実績推移 (セグメント別)



◆経常利益 当期純利益推移



下期施策

今後、日本の景気は、米国景気の堅調な回復、円安などによる輸出の増加による生産活動の持ち直しが期待され、日本国内の消費税率引き上げ前の駆け込み需要も見込まれます。このタイミングを逃すことなく、チノーグループ全体が連携してグローバルに下記施策を実行し、年度業績を確保します。

- ①環境・安全・安心を軸に新需要開拓とサービス活動の充実により顧客増に注力する。
- ②新エネルギー、ライフサイエンス (医療・医薬・食品)、熱画像、制御技術、アグリビジネス等の計装を新事業として拡大する。
- ③グループ全体最適となるグローバル管理の仕組みを構築し、オールチノーとしてのシナジーにより連結売上高と収益性を拡大する。
- ④グローバル戦略に基づきグループ連携を強化して海外売上比率25%を達成する。

チノー製品の活用事例紹介

太陽光発電システムの監視



太陽光パネル

日照情報、温度情報等

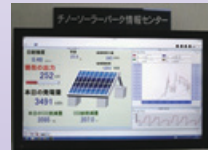
各種データ収集と記録・保存

太陽光パネルから得られる日照情報や外気の気温や湿度などの温度情報、パワー・コンディショナから得られる発電量などの情報を、チノーのデータ収集ソフトを用いて収集し、記録計に保存します。

デジタル記録計



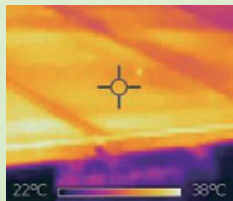
データ収集ソフトの画面



パネル表面のホット・スポット現象を計測

パネル表面に影などが生じ部分的に太陽光が遮られると、パネルの一部または全体が高温になる「ホット・スポット現象」を起こし、パネルの故障を引き起こすことがあります。

熱画像カメラを用いることで事前にホットスポットを見つけることが可能になります。



熱画像カメラで見たパネル表面の様子
(ホット・スポット現象は無く正常な状態)



接続箱



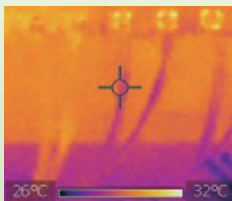
パワー・コンディショナ

発電量等

結線不良などを計測

結線不良を起こした場所は、電流が流れず配線の温度が低くなります。また、結線の緩みなどで端子部が発熱することがあります。これを熱画像カメラで撮影することで結線の不良を見つけることが可能になります。

熱画像カメラで見たパネル表面の様子
左2本の配線が正常な状態。中央の配線は、結線不良で電流が流れず、温度が低く表示されている。



決算の概要

◆連結貸借対照表 (要旨)

(百万円未満切捨)

科目	当第2四半期 (平成25年9月30日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)	増減
【資産の部】			
流動資産	13,875	13,921	△46
固定資産	7,065	7,320	△254
有形固定資産	3,860	3,912	△52
無形固定資産	794	688	105
投資その他の資産	2,411	2,719	△307
資産合計	20,941	21,242	△301
【負債の部】			
流動負債	4,745	5,464	△718
固定負債	2,518	1,968	549
負債合計	7,264	7,433	△169
【純資産の部】			
株主資本	12,916	13,118	△202
資本金	4,292	4,292	－
資本剰余金	4,072	4,072	－
利益剰余金	6,113	6,357	△244
自己株式	△1,561	△1,603	42
その他の包括利益累計額合計	17	△18	35
少数株主持分	743	708	34
純資産合計	13,677	13,808	△131
負債純資産合計	20,941	21,242	△301

【連結貸借対照表】

- ◎投資その他の資産の減少要因は当社所有の株式売却208百万円等によるものです。
- ◎流動負債の減少要因は仕入債務663百万円の減少によるものです。
- ◎固定負債の増加要因は長期借入金600百万円の増加で山形事業所及び藤岡事業所の増改築資金に充当致します。

◆連結損益計算書 (要旨)

(百万円未満切捨)

科目	当第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前年同期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	増減
売上高	7,696	7,736	△39
売上原価	5,431	5,577	△145
売上総利益	2,265	2,158	106
販売費及び一般管理費	2,354	2,198	156
営業利益(△損失)	△89	△39	△50
営業外損益	107	47	60
経常利益	17	7	9
特別損益	99	△43	143
税金等調整前四半期 純利益(△損失)	117	△35	153
法人税等	51	36	14
少数株主利益	6	27	△20
四半期純利益(△損失)	59	△98	158

◆連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(百万円未満切捨)

科目	当第2四半期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前年同期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	343	621	△278
投資活動による キャッシュ・フロー	△490	△540	49
財務活動による キャッシュ・フロー	227	△381	609

【連結損益計算書】

- ◎特別損益の主な内容は投資有価証券売却益108百万円であります。

【連結キャッシュ・フロー】

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

- ◎当期の主なプラス要因は減価償却費342百万円、売上債権1,103百万円の減少、一方マイナス要因は棚卸資産289百万円の増加、仕入債務680百万円の減少であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

- ◎当期の主なマイナス要因は固定資産の取得361百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

- ◎当期の主なプラス要因は長期借入金600百万円の収入で、一方マイナス要因は配当金の支払298百万円であります。

トピックス

短い温度センサ対応 低温用小形校正装置発売

測温抵抗体や熱電対の低温域での温度校正を目的とした可搬形の比較校正装置に、食品・医薬品の滅菌装置配管などに使用される短い温度センサに対応した校正装置KT-H504Sを追加発売しました。



CO₂モニタMAシリーズ 赤外線吸収方式CO₂モニタ発売

CO₂モニタMAシリーズに赤外線吸収方式を追加発売しました。赤外線吸収方式の追加により、様々な環境下でのCO₂測定が可能となります。腐食性ガス、可燃性ガスが共存する環境等、固体電解質方式では計測できなかった環境下での使用が可能となります。



防水型ハンディ放射温度計 IR-TE2発売

防水性、耐衝撃性に優れた小型・軽量の放射温度計IR-TE2を発売しました。

IR-TE2は、品物にふれずに離れたところから、簡単に品物の表面温度を測定することができます。

測定ポイント確認用のレーザービームを装備しており、容易に測定ポイントを確認できます。また、パッキンに青色を使用しているため、万が一食品に混入しても発見が容易です。

また、防水性に優れているので汚れても水洗いができ、ケースは抗菌仕様なので、衛生的に使用することができます。



経営理念

チノーグループは

『**特長・信頼・連帯**』

を軸に計測・制御・監視技術の限界に挑戦し
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する。

チノーのCSR推進体制

トップマネジメント

社長室 CSR・CI担当

環境

品質管理部

◇環境配慮経営◇
環境マネジメントシステムISO14001の全社認証を取得し、省エネルギー、廃棄物の削減、製品のグリーン化を宣言し、環境負荷の低減に努めています。

◇環境支援製品◇
温度センサ、放射温度計、熱画像カメラ、燃料電池試験装置、カロリー計測装置を環境支援製品と定め、事業を通じて環境に寄与しています。

◇チノービオトープフォレスト◇

チノー藤岡事業所内に設けられたチノービオトープフォレストでは、絶滅が危惧されているヤリタナゴの分散保護や、アサザやフジバカマの移植など希少種の分散保護を行っています。また、地域の方々に当社の取り組みをご理解いただく機会として、シイタケ栽培体験など、ビオトープを活用したイベントや環境学習等を実施しています。

社会

コンプライアンス委員会

法務部

◇社会貢献活動◇
社員の親睦会「千交会」を通じて、献血、森林整備ボランティア活動、奉仕活動を行っています。

経営

内部監査室

監査役会

BCP策定委員会

株式情報

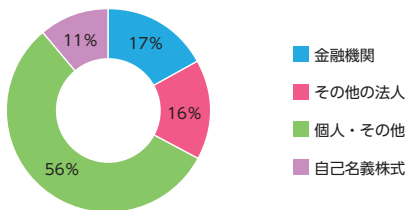
(平成25年9月30日現在)

- ◆発行可能株式総数 119,100,000株
- ◆発行済株式総数 47,800,580株
- ◆株主数 6,718名
- ◆大株主

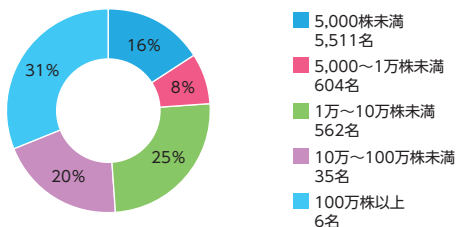
株主名	所有株数	出資比率
チノー取引先持株会	4,084 千株	8.54 %
チノー従業員持株会	1,954	4.08
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,694	3.54
株式会社りそな銀行	1,300	2.71
株式会社ニッカトー	1,037	2.17
株式会社北浜製作所	911	1.90
日本生命保険相互会社	900	1.88
株式会社共和電業	700	1.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	690	1.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	531	1.11

出資比率は発行済株式総数に対する所有株式の割合
(ご参考) 株式会社チノー (自己保有株式) 5,310千株

◆所有者別分布状況 (所有株式比率)



◆所有株数別分布状況 (所有株式比率)



会社概要

(平成25年9月30日現在)

◆商号	株式会社 チノー
◆英文商号	CHINO CORPORATION
◆創立	大正2年3月
◆設立	昭和11年8月1日
◆資本金	4,292百万円
◆従業員数	(連結) 945名 (単独) 658名
◆本社	〒173-8632 東京都板橋区熊野町32番8号
◆役員	代表取締役社長 苅谷 嵩夫 取締役副社長 岸 智晴 専務取締役 齊藤 是郎 専務取締役 小針 哲文 専務取締役 森山 隆正 常務取締役 松本 幸一 常務取締役 吉田 雄司 常務取締役 清水 川崎 取締役 長谷川 敬一 取締役 山西 明彦 取締役 豊田 喜男 常勤監査役 古谷 陽一 社外監査役 大原 澤沢 眞輔 社外監査役 大原 隆三郎

主要な事業所

名称	所在地
本社・技術開発センター	東京都 板橋区
東京支店	東京都 板橋区
北部支店	埼玉県 さいたま市
大阪支店	大阪府 吹田市
名古屋支店	愛知県 名古屋市
藤岡事業所	群馬県 藤岡市
久喜事業所	埼玉県 久喜市
山形事業所	山形県 天童市
東京精工事業部	神奈川県 茅ヶ崎市

子会社

名称	所在地
株式会社チノーサービス	埼玉県 久喜市
株式会社チノーソフテックス	群馬県 藤岡市
三基計装株式会社	埼玉県 戸田市
株式会社浅川レンズ製作所	埼玉県 久喜市
アーズ株式会社	神奈川県 横浜市
CHINO Works America Inc.	アメリカ合衆国 ロサンゼルス市
上海大華一千野儀表有限公司	中華人民共和国 上海市
千野測控設備(昆山)有限公司	中華人民共和国 昆山市
韓国チノー株式会社	大韓民国 京畿道華城市
CHINO Corporation India Private Ltd.	インド共和国 ナビムンバイ市
CHINO Corporation (Thailand) Limited	タイ王国 バンコク都

株主メモ

- ◆決算期日 3月31日
- ◆定時株主総会 6月下旬
- ◆配当金受領株主確定日 3月31日、9月30日
- ◆基準日 3月31日 そのほか、必要があるときは、あらかじめ公告します。
- ◆公告掲載新聞 日本経済新聞
- ◆上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- ◆株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
及び特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関 〒137-8081
(連絡先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<http://www.chino.co.jp>

CHINO

株式会社 **チノ**

〒173-8632 東京都板橋区熊野町32番8号 TEL 03-3956-2111 (大代表)

